

2025年度 イギリス・チチェスター英語研修 同行者報告書

キャリアセンター職員

1. 概要

2025年8月28日～9月16日に、東京経済大学（第35回）チチェスターカレッジ英語研修（以下、本研修）を実施した。2020～2021年度は新型コロナウイルスの影響で開催を中止し、2022年度に国際交流委員長が全行程引率、2023年度・2024年度に国際交流課職員が前半行程に引率、今年度は職員研修の一環として他部署の職員が同行した。

<プログラム概要>

事前オリエンテーション：2025年6月13日（金）、6月25日（水）、8月1日（金）

現地研修期間：2025年8月28日（木）～9月16日（火）（20日間）

参加学生：18名（男子学生5名、女子学生13名）

同行者：キャリアセンター職員

出張期間：2025年8月28日（木）～9月8日（月）（12日間）

2. 同行日程

- (1) 【8月28日（木）～29日（金）：同行1～2日目】日本出発、チチェスター到着
- (2) 【8月30日（土）～31日（日）：同行3～4日目】終日 Free time
- (3) 【9月1日（月）：同行5日目】授業 Induction、チチェスター市内の散策
- (4) 【9月2日（火）：同行6日目】授業開始、フィッシュボーン宮殿跡地

【授業概要】

1限 9:15～10:45（文法）／2限 11:00～12:30（動詞）／3限 13:30～15:00（コース別）

※通常、月曜日～金曜日授業。水曜日は3限以降なし。

※A1（初級クラス）～C1/C2（上級クラス）で構成されている

※研修2週目にはクラス替えがあり、本学の学生2名がB1/2から1つ上のレベルB1/1へ変更となった。その他の学生はクラスレベルの変更はなかったものの、各クラス2～7名ずつ他国の留学生が増えており、新たなクラスメイトと一緒に授業を受けられた様子。

●午前クラス

A1 クラス 本学学生7名
A2/2 クラス 本学学生7名
A2/1 クラス 本学学生2名
B1/2 クラス 本学学生2名

●午後クラス

English Extra3 クラス 本学学生4名
English Extra2 クラス 本学学生7名
English Extra1 クラス 本学学生7名

※午後のクラスは、午前のクラスレベルと初日の Speaking のテストの結果も加味して割り振りされる。昨年度は Business English&TOEIC1 や Academic English&IELTS、High level Skills2 にも本学の学生が割り振りされていたが、今年度は全員が English Extra1~3 に割り振られていた。
 ※午後のクラスについては、研修 2 週目も変更なしだった様子。



授業の様子

(5) 【9月3日(水)：同行7日目】午前クラス見学、アランデル城



アランデル城上での様子

(6) 【9月4日(木)：同行8日目】午後のクラス見学、ロッククライミング

(7) 【9月6日(土)：同行10日目】ロンドンへの日帰りトリップ

時間	場所	交通方法
10:50	バッキンガム宮殿	徒歩
11:15	ビッグベン	
11:15~	フリータイム	
13:30	大英博物館(自由に見学)	
15:30	見学終了、再集合	
16:35	ロンドン出発(19:00頃カレッジ到着)	電車

(8) 【9月7日(日) 同行11日目】終日 Free time

3. 同行者所見、改善点

(1) 2025 年度の改善点

改善すべき点（2022～2024 年度の継続課題）	改善状況（2025 年度）
午後のアクティビティの実施状況	昨年度に引き続き、今年度も全てのアクティビティが実施された。
留学生と交流をできる機会はあったが、イギリス人学生と交流機会を増やした方が良い。	昨年度に引き続き、今年度も 9/8 に Fun and Icebreaking Activities with British Students が開催された。同行期間終了後の開催だったため見学はかなわなかったが、イギリス人学生も含めグループに分かれてミニゲームを行った様子。
講義内容	本学学生は午前 4 クラス、午後は 3 クラスに割り振られていた。午前のクラス（2 コマ）は Grammar がメインで講義形式の授業が多く、午後のクラス（1 コマ）は Speaking や Conversation がメインで、ロールプレイングなどのワークが多く取り入れられていた。
クラス編成（2025 年度新規課題）	昨年度は、Speaking テストの結果を受けて、午後のクラスを学生が本人のレベルの範囲内で選択できたようだが、今年度はクラス選択の案内はなく、本学学生は English Extra 1～3 の 3 クラスに割り振られていた。学生たちの英語レベルにもよることなので仕方がないが、Extra 1（初級レベル）は 9 名中 7 名が本学学生で、残り 2 名も日本人、午前・午後ともに同じメンバーだったため、もう少しクラス選択の幅があるとよいと感じた。

(2) 2025 年度の同行者所見

- ① 昨年度に引き続き、留学生と交流をできる機会はあったが、イギリス人学生との交流機会を増やせるとなるとよいと感じた。研修 1 週目は授業クラスや Westgate（寮）に滞在している他国の留学生も少なかったため時期的な要因も大きいと思われるが（2 週目より韓国の留学生が到着との情報あり）、現地イギリス人学生のクラブ見学なども含め、何かしらの交流の機会があるとよいと感じた。授業開始後の 9/4（木）に、現地の日本人カウンセラーより学生の 1 人から「もっとイギリス人学生や他国の留学生と交流したい」という相談があったと報告を受けた。日本人カウンセラーから学生へ、翌日のカラオケ&ゲームイベントや翌週の Fun and Icebreaking Activities with British Students で交流するチャンスがあることを伝え、現地イギリス人学生のクラブの実施日程を教えた旨を連携してくれた。クラブ活動は 9 月中旬頃（研修日程の 2 週目以降）から始まるところが多いということで、実際に参加できたかは把握できていないが、学生のアンケート結果が好評であれば、アクティビティとして

追加してもらうのもよいかもしれない。

- ② 到着日の翌日・翌々日が終日 Free time だったため、1人で行動する学生がでないよう、事前オリエンテーションで、参加学生同士交流しておくよう声を掛けていたが、学年や学部がばらばらということもあり、羽田空港集合時に自己紹介をしている様子がみられた。また、同行者も学生とは事前連絡のやり取りがないため、現地で学生たちと触れ合うまでは顔と名前を一致させるのに手間取った。事前オリエンテーションは今年度も3回用意されており説明内容も多いため、実施には大変な労力がかかっていることは承知のうえで、可能であれば事前オリエンテーションの中で全員がお互いの顔と名前を把握できるよう、自己紹介の時間を確保できると安心かと思った。また、事前ワークの一環で、チチェスターやロンドンの交通状況やイギリスの食文化、観光地の歴史的背景やマナーなどを各自で調べる課題があってもよいかと思った。現地ではチチェスターとロンドンの位置関係を知らなかったり（チチェスターからロンドンへの移動は1時間半以上かかり、交通費も日本より高い）、食堂で提供される食事に慣れるまでに時間がかかったりする学生もいたので、基礎知識を各自で調べておくことも大切かと思った。
- ③ 授業については現地のベテラン教員たちが工夫を凝らして実施しており、充実した内容だった。個人的感想だが、特に午前中の授業はクラスレベルによって難易度に大きな幅があるように感じた。初級クラスでは自己紹介で使う単語や身近な物のスペルや発音などをわかりやすくレクチャーしており、中上級クラスでは銀行でのやり取りをテーマに、金融関係の専門用語なども入った長文読解にチャレンジしていた。参加学生たちは各クラスのゴールに向けて積極的に授業に参加していた。参加学生全体の雰囲気としても素直で積極性があり、各々が「多くのことにチャレンジし、吸収したい」という前向きな気持ちで研修に参加できていたように思う。
- ④ クラス編成については上記に課題としても記載したが、初級～中級クラス（A1～A2）はどうしても日本人学生が多くなってしまふ。特に初級クラス（A1）は9名中7名が本学学生で残り2名も日本人、午前・午後ともに同じメンバーだったため、少し物足りなさを感じていた様子。しかし、初級クラスには海外渡航が初めてという学生もおり、「アクティビティや寮生活で十分にイギリスの文化を体感し、英語研修の醍醐味を味わえている」という声もあったので、研修全体の満足度は高かった様子。なお、2週目からは他国の留学生が増え、クラスの雰囲気にも新鮮さが出ていた模様。学生たちの英語レベルや滞在時期に大きな影響を受けるので改善提案が非常に難しいが、状況報告として記載しておく。
- ⑤ 昨年度に引き続き、午後のアクティビティは充実していた。ディナータイムが17時～18時のため、その時間を避けてアクティビティが組み込まれていたため、学食でディナーを食べる時間も確保されていた。毎日何かしらのイベントが組み込まれていることで、自身がイギリスでやりたかったことを叶えられているという学生が多かった様子。
- ⑥ 学外のトリップは日本人カウンセラーと引率の先生・職員が2名体制で同行してくださった。同カウンセラーは昨年も本研修に携わっていたため、その知見も踏まえながら今年度も各方面で丁寧にご対応いただいた。なお、同カウンセラーの勤務は平日8:30～16:30が基本とのこと。学生たちには、同行者の帰国後は、授業に関する相談や日中の体調不良など

は同カウンセラーに、夜間帯や土日に関しては寮の管理人に相談するように周知した。

- ⑦ 管理人室は 24 時間体制で開室しており、こちらもまた丁寧にご対応いただいた。寮生活ではシャワーのお湯が冷たい、変圧器が作動せずドライヤーが使えない、ミールクーポンを無くした、等々の細かいトラブルが複数発生していたが、学生自身で管理人に相談するように案内した。学生たちにとっても、夜間帯に何か発生した際に相談できる体制が整っていることは安心感につながっていたように思う。
- ⑧ College Email のシステムやトリップ中の緊急連絡手段として、イギリスの電話番号の準備については次年度以降の留意点である。また、研修期間中に委託旅行社紹介の SIM を利用していた学生より相談があったが、解決した。次年度以降も注意が必要だと思われる。
- ⑨ 昨年度はミールクーポンのエラーが多かったとの引継ぎがあったため、初日に食堂で利用してみたが問題なく利用できた。しかし毎年システムや運用ルールが更新になっているようで、ミールクーポン関連は毎年確認する必要がある。また、昨年度はロンドントリップ用のランチパックが用意されていなかった事案があったようだが、今年度はしっかり用意されていた。
- ⑩ 同行期間中の体調不良はあったものの症状は軽く、自身が持参していた薬を服用したところ翌日には回復したとの報告あり。慣れない環境や食事により、どんな症状が出るかわからないので、次年度以降も薬は自身が飲み慣れているものを多めに（どんな症状が出ても対応できるように）持参するように案内することが望ましい。
- ⑪ 今年度の同行者は国際交流課員以外から募集するという事で同行の機会をいただいたが、現地での英語教育の様子はもちろん、学生たちが異国の文化に触れ、様々なことにチャレンジする様子を間近でみることができ、大変勉強になった。現地では臨機応変な判断や柔軟な立ち回りが必要とされるシーンが多々あったが、これまでの学生支援の経験を活かし、引率者として学生が安全に留学生活を送れるようサポートし、時には統率する力が醸成されたように感じる。
- ⑫ 国際交流課とは普段の業務上でも関わりがあり、部署同士の場所も近いので渡航前には頻繁に情報共有をしていただいたことも無事に引率期間を終了できた大きな要因であった。特に本研修の担当兼過年度の同行者である職員には、参加学生の様子や現地での細かいアテンドなど、経験も踏まえて丁寧に引継ぎをしてくださっていたため、安心して臨むことができた。

以上